

【知的障がい】
（道央圏）

空知管内

北海道美唄養護学校

寄宿舍：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒072-0811 美唄市東7条南3丁目1-1
- 問 合 せ 先 TEL 0126-62-6511
FAX 0126-62-6512
E-mail bibaiyougo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.bibaiyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標（令和8年度改定）
「明るい未来を見つける 支え合う つなぐ」
- 教育信条
「あくまでも優しく
あくまでも厳しく」
- 概 要



本校は昭和52年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。高等部は、平成10年に設置され、知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、交流及び共同学習や地域への貢献活動など地域の人材や資源を生かした学習活動を通して、卒業後の自立と社会参加を目指しています。生徒一人一人が培ってきた力を土台に、現在の学校生活を豊かにするとともに、将来の社会参加、自立に必要な力を養うための教育を行っています。寄宿舍では、一人一人の発達の段階に応じて、生活スキルの向上を図るほか、日常生活を豊かに過ごすための様々な余暇活動に取り組んでいます。

■特色ある教育活動

高等部教育目標「地域社会とのつながりを意識し、生活する力を身に付ける」

- (1) 社会生活に必要な基本的な生活習慣を身に付ける
- (2) 身体の健康状態の改善・維持・増進を図る
- (3) 自ら考え、主体的に行動する力を身に付ける
- (4) 意欲的に社会参加する力を身に付ける
- (5) 心理的な安定を図り、円滑にコミュニケーションをとれる力を身に付ける

【 進路の学習 】

総合的な探究の時間を中心に、卒業後の生活を見据えた進路学習に計画的に取り組んでいます。「働くことへの理解」「挨拶、言葉遣い、マナー」「社会見学（事業所・施設見学）」「現場実習（含事前・事後学習）」等の指導内容を配置し、自己理解を促し卒業後の生活について考える学習に取り組まします。同時期に、終日作業学習を行う「集中作業日」（3日間）を設けているほか、学校生活全般を通して、様々な人との関わりの中で生活していくために必要な力を身に付ける指導を行っています。

【 地域の清掃活動 】

「生徒自身が地域の人々のために役に立てることはないだろうか」と考え、年に数回、美唄市役所市民部生活環境課と連携し、学校周辺地域の環境整備として清掃活動に取り組んできました。地域の方からの「お疲れさま」「ありがとう」という感謝のお言葉は、生徒たちの次の学習活動への意欲につながっています。

【 交流及び共同学習 】

同年代の生徒と協働した活動を通して、生活経験を上げ、社会性や豊かな人間性を育てることを目的として、美唄市にある高等学校2校と交流及び共同学習に取り組んでいます。



作業学習



現場実習



校外学習



保健体育：20分間走



高等部祭：ステージ発表



生活単元学習：選挙

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	国語・数学	保健体育	国語・数学	保健体育	保健体育
3	作業学習	生活単元学習	作業学習	作業学習	生活単元学習
4					
5	日常生活の指導（給食）				
6	保健体育	音楽	日常生活の指導	生活単元学習	LHR
7					
8	日常生活の指導	日常生活の指導		日常生活の指導	日常生活の指導

【重複障がい学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2		保健体育		保健体育	保健体育
3	自立活動	生活単元学習	自立活動	自立活動	生活単元学習
4					
5	日常生活の指導（給食）				
6	保健体育	音楽	日常生活の指導	生活単元学習	LHR
7					
8	日常生活の指導	日常生活の指導		日常生活の指導	日常生活の指導

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

* 登校時間 8:50~9:00 (月~金)

* 下校時間 14:50 (月・火・木・金) / 13:20 (水)

■教育課程の特徴

生徒一人一人の教育的ニーズや障がいの特性、発達の段階等を考慮し、グループ別学習を行うとともに、本校小・中学部の教育課程との一貫性を踏まえた教育課程を編成しています。

□ 作業学習

作業学習は4つの作業班を設定しています。

- ・環境班（清掃活動、農作業等）
- ・陶芸班（皿などの製作、販売に向けた取組等）
- ・リサイクル班（空き缶・ペットボトル回収、分別等）
- ・生活総合班（クラフト、木工作业等）

3年間を通して一つの作業班に所属して学習するのではなく、年度ごとに意向調査を行い、作業班の変更を可能としています。生徒が様々な作業を通して、自身の作業適性や特性（よさ）を知るなど、自己理解を促進する機会としています。

□ 現場実習

生徒、保護者の願いを踏まえ、卒業後の生活を見据えた現場実習を行っています。各事業所等での作業や余暇的な活動を経験し、進路を選択するための学習を計画的に進めます。

- ・第1学年：学校近隣の事業所で行う実習（3日間）
- ・第2学年：自宅から通勤して行う実習（5日間）
- ・第3学年：卒業後の福祉的就労先で行う実習（10日間）

※必要に応じて、追加の実習を行います。

□ 生活単元学習

生活年齢にふさわしい単元設定を意識し、ねらいに合わせて学習集団を学部全体、学年、学級などで構成し学習活動を進めています。

□ 自立活動の指導

生徒一人一人の学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するための指導を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

- 一般就労～1名
- 福祉的就労～7名（就労継続支援B型～2名/生活介護～5名）

学校Webページ



空知管内

北海道南幌養護学校

寄宿舍：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒069-0232 空知郡南幌町緑町5丁目1番1号
- 問 合 せ 先 TEL 011-378-2313
FAX 011-378-2319
E-mail nanporoyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.nanporoyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「一人一人が力と個性を發揮し 社会で豊かに生活する力を育む」

- 校 訓
「健康」「協力」「努力」

- 概 要

本校は昭和60年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。平成10年に高等部が設置され、生徒一人一人の発達の状態や障がいの特性、課題等を踏まえ、よさや可能性を最大限に伸ばし、将来につながる基礎的・基本的な力を身に付けることを目標としています。

また、寄宿舍では、基本的な生活習慣や社会性、主体的な生活態度の育成・定着を図っています。令和2年度から学校運営協議会設置校（コミュニティ・スクール）となり、一層地域と連携した教育活動の充実を図っています。



■特色ある教育活動

高等部教育目標

様々な経験をとおして、知識や技能を深め、自己選択・自己決定・自己表現できる力を高め、仲間とともに学び合う力を養う。

【 各教科等の指導・各教科等を合わせた指導 】

生徒一人一人が、社会生活に役立つ力や表現力を伸ばすことができるよう、集団生活の中で主体的な活動や協力的な活動に一人一人の特性や発達段階等に応じて取り組んでいます。学習内容に応じて、個別の学習やグループ学習で効果的に学ぶことができるようにしています。

【 社会生活実習 】

卒業後の社会生活を考え、教育活動で培った力を実社会で実践し、発展させることを目標として、社会生活実習を行っています。学年進行で段階的に取り組んでおり、町内の施設を活用した実習などを経験し、第3学年では、卒業後に働くことを前提とした実習に取り組んでいます。こうした取り組みを通して、卒業後の生活にスムーズに移行できるようにしています。

【 地域資源を活用した体験学習 】

学習経験の拡充・充実を目指し、地域の物産館や生涯学習センターを活用した、調べ学習や体験学習を行っています。学校周辺の地域から、生徒の居住地区や北海道の地域の特徴や文化などに興味を持つことができるよう、発展的に取り組んでいます。



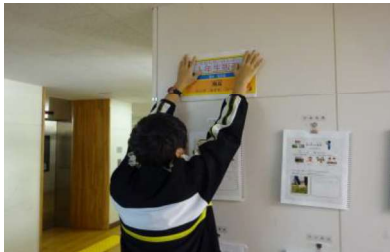
生活単元学習：生徒会役員選挙



作業学習：「ふきん」づくり



保健体育：器械運動



生活単元学習：文化祭のポスター
掲示



作業学習：学校花壇の花植え



地域資源を活用した学習：
キムチづくり

■第1学年生徒の週時程表

【 1学年共通（普通学級・重複障がい学級）】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
	SHR				
2	課題別学習・ 自立活動	保健体育			
3	美術	課題別学習・自立活動			
		作業学習	作業学習	生活単元 学習	生活単元 学習
4	LHR				
5	生活単元 学習/ 総合的な探 究の 時間	音楽	保健体育		
6					作業学習

□ 日常生活の指導

生活の流れに沿った実際的な場面で指導を行うことで、生活リズムの確立や健康で安全な生活を送るための知識や技能を身に付けることを目指しています。

* 登校時間 8:50（月～金）

* 下校時間 14:50（月～水・金） / 13:20（木）

■教育課程の特徴

作業学習、生活単元学習、日常生活の指導を中心に、保健体育や音楽などの教科の学習や総合的な探究の時間、自立活動等を適切に配置し、相互に関連付けながら教育課程を編成しています。さらに、キャリア教育の視点を踏まえ「卒業後の社会生活に役に立つ力」の習得や定着を目指し、日頃学習した体験を日常生活に結び付ける教育活動を推進しています。

□ 作業学習

ものづくりや植物を育てる学習活動を通して働く意欲を育み、学校生活や卒業後の社会生活を主体的に送るための知識や技能、態度及び習慣を身に付けることを目指しています。

今年度は、環境・リサイクル班、手芸班等を編制し、学習しています。

□ 生活単元学習

生活に関連する一連の活動を組織的に学習することで、社会生活に必要な事柄を実際の・総合的に身に付けることを目指しています。成功経験を数多く積むことを大切にしながら、卒業後の社会参加に必要な知識や技能などを身に付けます。

□ 自立活動の指導

課題別学習や体力づくりの時間などを通して、個々の目標や生活に合わせた活動に取り組み主体的に生活していくための知識や技能を身に付けます。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

□ 福祉的就労～23名（就労継続支援B型、生活介護等）
施設入所 ～ 1名

学校Webページ



空知管内

北海道夕張高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒068-0424 夕張市千代田7番地1
- 問 合 せ 先 TEL 0123-56-5530
FAX 0123-56-5532
E-mail yukoyo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.yukoyo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「Believe in yourself～協働・チャレンジ～」
「輝きながら、夢をもって歩む人を育てる」
- 校 訓
「伸びやかに たくましく」
- 概 要



本校は、知的障がいと他の障がいを併せ有する生徒を対象とした高等部普通科のみを設置する特別支援学校として平成13年に開校しました。令和6年度からは、普通学級が設置になり、学年の人数が最大11名となりました。個に応じた丁寧な指導と集団での指導の両面から個々の生徒の自己実現を目指し教育活動を実践しています。また、寄宿舎を併設しており、学年を超えた生徒同士の関わりの中で基本的生活習慣の育成を地域の教育力も活用しながら目指しています。

■特色ある教育活動

個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づいた一人一人に応じた指導の充実

- 【 小集団・縦割り学習集団、個別対応による学習形態 】
生徒一人一人の障がいの状態に応じた教育課程を編成し、個々の教育的ニーズに応じた指導を行っています。個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づいて指導体制や教育環境の整備に努め、社会生活において生徒個々に必要となる知識や技能等の実践的な力の育成を行います。
- 【 個別の課題に応じた進路指導 】
進路選択に向けて、1学年から事業所の見学を行います。事業所における現場実習は2学年から居住地において実施し、3学年になると卒業後の利用を前提とした現場実習を実施します。毎年行う校内実習や地域の教育資源を活用した授業の展開など、丁寧な進路指導に努めています。
- 【 充実した寄宿舎生活 】
寄宿舎生活では、2人部屋を基本としています。日課に沿った生活を通して、基本的な生活習慣の質を高めるとともに、余暇活動の充実を図り、社会で「生活する力」の育成を行います。
- 【 個別の配慮が可能な設備・施設 】
校舎は、平屋のバリアフリーの構造で、各学年に1室ずつ冷房付きの教室、全教室に高さを調節できる可動式の洗面台があります。



作業学習【紙工作業】



音楽【夕張高校との交流及び共同学習】



夕張チャレンジプログラム【若菜町内会の花壇整備】



保健体育【モルック】



寄宿舍での活動【レクリエーション】



寄宿舍での活動【大掃除】

■ 週時程表

【全学年共通】（普通学級/重複障がい学級）

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導（朝の会）				
	保健体育				
2	国語・数学 / 自立活動				
中休み					
3	作業学習				生活単元学習 ／ 総合的な探究の時間
4					
日常生活の指導（給食）					
5	音楽	美術	音楽	ホームルーム活動	日常生活の指導（そうじ）
6	自立活動		自立活動 ／ 生徒会	日常生活の指導（帰りの会）	
日常生活の指導（帰りの会）					

■ 教育課程の特徴

本校では、学校教育目標を達成するために『協働・チャレンジ』を合い言葉に、目指す生徒像（資質・能力）として、①日常生活にかかわる力 ②健康・体力にかかわる力 ③相談・理解・表現にかかわる力 ④余暇活動にかかわる力 ⑤人とかかわる力の「5つの力（意欲）」の育成に努めています。

□ 教育課程

令和7年度から新しい教育課程を実施しています。

「自立活動」に重点を置き、各教科等を合わせた指導である「作業学習」「生活単元学習」や「日常生活の指導」、教科別の指導である「国語」「数学」「保健体育」「美術」「音楽」と「総合的な探究の時間」「道徳」を学びます。

□ 自立活動

自立活動では、一人一人の実態に合わせて、それぞれの課題に即した活動を取り入れ、他の学習と関連付けて学習しています。

* 登校時間 8：35（月・火・水・木・金）

* 下校時間 14：40（月・火・水）／14：00（木・金）

■ 卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 福祉的就労（生活介護）～1名
 - ・生活形態 福祉事業所への入所～1名

※令和7年度については、卒業生は0名でした。

学校Webページ



空知管内

北海道雨竜高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒078-2600 雨竜町字尾白利加92番地21号
- 問 合 せ 先 TEL 0125-78-3101
FAX 0125-78-3101
E-mail uryuukoyo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.uryuukoyo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「～夢・チャレンジ・実現～」

希望に向かって挑戦する、明るく力強く生きる生徒を育てる」

□ 校 訓

「健康 誠実 努力 創造」

□ 概 要

本校は昭和59年に開校した職業学科を設置する高等養護学校です。5つの学科を設置しており、地域資源を活用した作業学習等を通じて、卒業後の職業自立と社会参加に向け、「働く力・生活する力」「意欲・主体性・自信」を養うための教育を行っています。

寄宿舎では、集団生活におけるルールやマナーを守りながら生活することで、規範意識を高めるとともに、基本的な生活習慣の定着を図っています。



■特色ある教育活動

【 農 業 科 】

農業科では、野菜、花の栽培・販売、校地内の花壇整備・管理、近隣地域の農家提供の稲わらを使用した製縄、町内公共施設に四季の鉢花を提供するフラワースマイルプロジェクトなどに取り組みます。

【 生産技術科 】

生産技術科では、紙工作業（名刺・はがき・カレンダー等）、織工作業（コースター、ランチョンマット等）、草木染めに使用する農作物（玉ねぎ・マリーゴールド・赤しそ・藍）の栽培、校内資料の丁合業務、校舎や町内施設の窓清掃に取り組みます。

【 窯 業 科 】

窯業科では、粘土で皿や小鉢、カップ類等の製作・販売活動に取り組みます。また、3学年を中心に雨竜町役場での販売会を実施しています。年間を通じた活動として、雨竜米の粳殻（もみがら）を原材料とした釉薬（ゆうやく）「暑寒白烏釉」作りにも取り組みます。

【 木 工 科 】

木工科では、木材を原料に、材料取り・製材・研磨・組立て・塗装までの工程を通じた製品づくりや販売活動に取り組みます。町内の幼児に積木を贈呈する「ウッドスタート事業（学校・雨竜町・東京おもちゃ美術館との協定）」にも取り組みます。

【 工 業 科 】

工業科では、セメントを原料とした各種コンクリート製品（民地仕切石・歩道平板など）や皮革加工による製品（コースターなど）の製造、販売活動に取り組みます。町内の公園遊具の整備や工業科製品を用いた簡単な土木施工にも取り組みます。



農業科：きゃべつの苗植え



生産技術科：窓清掃



窯業科：釉掛け



木工科：引き出しの組み立て作業



工業科：打ち込み



現場実習

■第1学年生徒の週時程表

	月		火		水		木		金	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
1	生徒会活動 (集会・委員会)		体づくり						総合的な 探究の時間	
2					生活単元 学習 ／ 情報		作業学習		美術	保健体育
3	作業学習		作業学習							
4					LHR					
5	生活単元 学習 ／ 情報		保健体育	美術	国語 ／ 数学	音楽	生活単元 学習 ／ 情報			
6	国語 ／ 数学				音楽	国語 ／ 数学	国語／数学			

※A～農業科、生産技術科

※B～窯業科、木工科、工業科

* 登校時間 8:30 (月～金)

* 下校時間 15:30 (月～木)
12:15 (金)

■教育課程の特徴

作業学習を中心に、各教科等を合わせた指導と教科別の指導を適切に配置し、相互に関連付けて教育課程を編成しています。“卒業後の社会生活（職業生活を中心とした自立と社会参加・社会貢献）のために、どこで生活しても汎用的に役立つ力”となる知識や技能、態度及び習慣の育成を目指した教育活動を展開しています。

□ 自立活動の指導

一人一人の中心課題を適切に分析し、必要となる項目を選定し、具体的な指導内容を設定します。生活の質を高めるための土台として、全教育活動と関連付けながら意図的・計画的に指導しています。

□ 作業学習

各学科の作業では、進路先で必要とされる知識や技能、態度及び習慣や、状況判断・対応する力などを身に付けることができるよう、実践的な学習活動に取り組みます。

授業時数は、週あたり1学年が9時間、2学年が11時間、3学年は12時間です。

□ 現場実習

企業や事業所での実習を通して、社会人になることへの自覚を高め、生徒個々の課題を明確にし、卒業後の職業生活、社会生活をする上で必要な知識や態度を育みます（1学年は5日間、2学年は2週間、3学年は3～6週間）。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

□ 一般就労（就労継続A型含む）～8名

【障害者福祉事業、小売業、宿泊サービス業、クリーニング業など】

□ 福祉的就労（就労移行支援／就労継続支援B型）～11名

□ 進学～2名

学校Webページ



石狩管内

北海道札幌養護学校白桜高等学園

寄宿舎：無

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒003-0876 札幌市白石区東米里2062番地10
- 問 合 せ 先 TEL 011-879-2530(代表)
FAX 011-879-2531
E-mail hakuou-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.hakuou.hokkaido-c.ed.jp/>



■本校の概要

- 学校教育目標
「一人一人のよさ・可能性を最大限に伸ばし、
健やかで主体的に学び続ける児童生徒が育つ学校」
- 具 体 目 標
「健康で丈夫な体」 「優しく豊かな心」
「表現する力」 「主体的に学ぶ力」
- 概 要



本校は、昭和33年に知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校として開校しました。令和3年4月には高等部が札幌白陵高等学校の校舎へ移転し、「白桜高等学園」として新たに開校しました。現在は校舎2階を専用スペースとし、学習活動を行っています。札幌養護学校高等部の良さを受け継ぎつつ、発展させることを基本に据え、さまざまな生活場面での学習や、卒業後の生活に結び付く体験的な学習を展開しています。また、多様な発達段階にある知的障がいのある生徒一人ひとりの学習特性に配慮し、音楽、美術、保健体育といった教科のほか、生活単元学習や作業学習などにおいて、個に応じた指導を行っています。

■特色ある教育活動

高等部の教育目標

- 自分の良さや持ち味を生かすとともに、自分の方法で表現したり、伝えたりする力を育てる。
- 集団生活を通して相手に優しい心もち、仲間とともに活動する力を育てる。
- 自分で考え選択するとともに、最後までやり抜く力を育てる。

【 主体的に活動するための工夫 】
本校では、学習活動全般を通して、生徒が自ら選択したり、考えたり、意思を表現したりする場面を大切にしています。体験的な活動を多く取り入れることで、生徒一人一人が主体的に学習へ参加できるよう工夫しています。

また、各授業においては、ICT機器を積極的に活用し、生徒が興味・関心をもちながら学習に取り組むことができるようにしています。写真や動画、視覚的な教材等を活用しながら、基本的な知識や技能の習得につなげています。

【 各教科等を合わせた指導 】
日常生活の指導、生活単元学習、作業学習などの「各教科等を合わせた指導」を通して、社会生活に必要な力や働くための基礎的な力を、実践的・総合的に育てています。

また、集団での活動を通して、自主的に取り組む力や、他者と協力する力、社会的なルールを守って行動する力を育み、望ましい人間関係を築くことができるよう指導しています。

【 各教科等の指導 】
音楽、美術、保健体育などの教科の学習を通して、感性を豊かにするとともに、健康の維持や体力の向上を図っています。

また、生徒一人一人の得意なことや良さを生かしながら、表現する力や自己表現への意欲を高めることができるよう、様々な学習活動に取り組んでいます。



作業学習：環境整備班



作業学習：紙工班



作業学習：手芸班



体育大会



白桜祭（学校祭）



生徒会役員選挙

■第1学年生徒の週時程表

【 普通学級／重複障がい学級 】

時限	月	火	水	木	金
登校					
1	日常生活の指導 着替え・朝の学習・朝の会				
2	体力づくり			課題学習	体力づくり
3	作業学習	生活単元学習	作業学習	課題学習	生活単元学習
4					
5	日常生活の指導 配膳 給食 下膳				
休み時間		日常生活の指導	休み時間		
6	総合的な探究の時間		美術	LHR	音楽
7	日常生活の指導 掃除・着替え・帰りの会 下校		日常生活の指導 掃除・着替え・帰りの会 下校		

- *登校時間 8：50（月～金）
- *下校時間 14：45（月火木金）
13：10（水・懇談週間他）

■教育課程の特徴

本校では、作業学習、生活単元学習、日常生活の指導などを中心とした「各教科等を合わせた指導」を基盤として教育課程を編成しています。さらに、将来の自立と社会参加に必要な力を育てるため、音楽、美術、保健体育などの各教科についても適切に配置し、関連を図りながら学習を進めています。

また、生徒一人一人が自分の良さや得意なことを理解し、自ら考え、判断しながら課題を解決していく力を高めることができるよう、日々の教育活動を行っています。

□ 課題学習

国語や数学などの基礎的な学習に加え、手指の巧緻性、コミュニケーション能力、生活に必要な力の向上を目指し、生徒一人一人の実態や課題に応じた学習を行っています。また、自立活動の内容も取り入れながら、個に応じた支援を行っています。

□ 作業学習

卒業後の生活や就労を見据え、様々な場面や環境に対応しながら働くために必要な基礎的な力を育てています。

生徒の実態や興味・関心等を踏まえ、「環境整備班」「手芸班」「紙工班」の3つのグループに分かれて学習活動を行い、働く力や協力する力、継続して取り組む力などを身に付けられるようにしています。

□ 自立活動の指導

課題学習等の時間を活用し、卒業後の生活を見据えながら、他者との関わり方やコミュニケーション、自己理解、感情のコントロールなど、一人一人の課題に応じた学習を行っています。

また、日常生活や社会生活の中で必要となる力を身に付けることができるよう、実際の場面を想定した指導を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

- 福祉的就労～48名【療養介護・生活介護・就労継続支援B型・就労移行支援・自立訓練】

学校Webページ



石狩管内

北海道札幌養護学校共栄分校

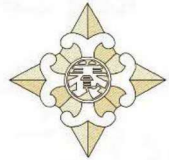
寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 原則として中学部から在籍している方を対象とした特別支援学校です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒061-1112 北広島市共栄274番地1
- 問 合 せ 先 TEL 011-373-6859
FAX 011-373-6860
E-mail sapporoyougokyouei-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.sapporoyougokyouei.hokkaido-c.ed.jp/>



■本校の概要

- 学校教育目標
「一人一人のよさ・可能性を最大限に伸ばし、健やかで主体的に学び続ける児童生徒が育つ学校」
- 校 訓
「健康で丈夫な体」 「優しく豊かな心」 「表現する力」
「主体的に学ぶ力」
- 概 要



本校は、広島町立東部小学校富ヶ岡分校が北海道へ移管されたことに伴い、昭和54年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。当初は施設内分校として設置されましたが、施設が成人対象に転換するなどの状況があり、現在は知的障がいに肢体不自由を併せ有する重複障がいの生徒が多く在籍しています。生徒の学習上・健康上の特性等を踏まえ、医療的ケアの実施も含めた安全・安心な環境整備に努め、他者と関わり自己を表現するために必要なコミュニケーション力を養うことを中核として、卒業後の自立と社会参加を目指した教育を行っています。

■特色ある教育活動

高等部教育目標 「自分で感じ、自分で考え、自分からかかわる生徒」

- ア 自分の感覚を使い、自分の身体を意識し、健康な生活を送ろうとする気持ちを育てる。
- イ 人とのかかわりの中で、共に活動し協力する心を育てる。
- ウ 感じたことや考えたことを、自分なりの方法で表現する力を育てる。
- エ 体験的な活動を通して興味・関心の幅を広げ、主体的に学ぶ力を育てる。

【 集団での学習を大切にした授業づくり 】

生徒の実態に応じた個別の対応を大切にしながら、集団学習の機会を多く設定し、自分の思いを表現したり、他者との関わりの中で主体的に学ぶ力を育てる学習活動を行っています。

【 医療的ケアの実施 】

健康状態に特に配慮が必要な生徒に対して、生徒の主治医等と連携して医療的ケアを実施しています。医療的ケアの実施により、生徒は心身が安定した状況で充実した教育活動に取り組むことができます。

【 安全・安心な教育環境づくり 】

障がいの重度・重複化、多様化に伴い、体調の急変などの緊急時における関係諸機関等と連携した体制整備に努めています。在籍生徒一人一人の状況に応じた体制づくりを行っています。



自立活動（体づくり）：
ウォーカー



生活単元学習：
共栄オリエンテーリング



作業学習：あずき殻取り



たいいくタイム：ポッチャ



おんがくタイム：器楽（木琴）



総合的な探究の時間：
主権者教育（模擬選挙）

■令和8年度の週時程表

【普通学級／重複学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導/自立活動（朝の活動）				
2	自立活動（体づくり）				
3	日常生活の指導（朝の会）				
4	作業学習	作業学習	生活単元学習	総合的な探究の時間	作業学習
5	日常生活の指導（給食）/自立活動（昼食/給食）				
6	生活単元学習	たいいくタイム	LHR	おんがくタイム	生活単元学習
7	自立活動		日常生活の指導（帰りの会）	自立活動	日常生活の指導（帰りの会）
8	日常生活の指導（帰りの会）			日常生活の指導（帰りの会）	

- * 登校時間 8：50（月～金）
- * 下校時間 15：00（月・火・木）／14：00（水・金）

■教育課程の特徴

学校生活全体を通して、自分で感じ考えたことを相手に伝え、自分から人と関わる力を育てるよう学習活動に取り組んでいます。
また、生徒一人一人に応じた課題を設定し、「できた」や「誰かの役に立った」といった気持ちを実感できる学習に取り組んでいます。

- 自立活動（体づくり）
身体の状態に合わせ、筋緊張の緩和、姿勢保持を目的としたストレッチなど、自立活動教諭と連携しながら個別に進めています。
- 総合的な探究の時間
自分のことや社会のことなどについて調べたり体験したりする学習や、地域や他の学校との交流、選挙の学習などに取り組んでいます。
- 作業学習
自助具を使って、ミシンでの雑巾製作やあずきの殻取りなどの学習に取り組んでいます。
- 生活単元学習
季節、行事等を題材に、様々な体験的な学習に取り組んでいます。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

- 福祉的就労（生活介護）～2名
【社会福祉法人 北ひろしま福祉会 北広島コラボ（ミルト）】
【北海長正会 地域サポートセンターみなみ】

学校Webページ



石狩管内

北海道星置養護学校ほしみ高等学園

寄宿舍：無

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒006-0860 札幌市手稲区手稲山口740番地1
- 問 合 せ 先 TEL 011-681-6500
FAX 011-681-6511
E-mail hoshimi-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.hoshimi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「一人一人の思いを大切にし、豊かに生きる力を育てる」

- 目指す学校の姿
共に学び、共に育つ学校～信頼・協力・感動～

- 概 要
本校は、星置養護学校の分校として平成26年4月に開校しました。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、卒業後、主体的で豊かな社会生活を送るために必要な実際の・実用的な力や態度、習慣を育成する学習活動を展開しており、コース制を採用しています。



■特色ある教育活動

ほしみ高等学園の教育目標

「一人一人の思いを大切にし、豊かに生きる力を育てる」を達成するため、以下のよう考える。

- ① 学校生活の学びを通して、見通しを持ちながら、自分で物事を考え、伝える力を育てる。
- ② 周りの人や物事に興味・関心をもち、自己選択を通して主体的に関わる力を育てる。
- ③ 望ましい生活習慣を獲得し、身辺自立に向けて生活する力を育てる。
- ④ 自分の役割を意識し、将来、地域に出て働く意欲や働くために必要な力を育てる。
- ⑤ 周囲と協力しながら、集団の一員としての自覚や責任を持ち、自分の役割を果たす力を育てる。

【 コース制の導入 】

本人や保護者の希望を重視し、コースを決定します。コース制では、生徒の適性、将来の進路希望等を踏まえて、卒業後の自立や社会参加に必要な力の育成を目指します。

また、学校、家庭、地域において、自ら主体的に、あるいは支援者とともに自分の生活をデザイン（計画・設計）する力を養います。さらに、その目的を達成し、一人一人の多様な教育的ニーズに応えるため、各コースにいくつかの「グループ」を編制してきめ細かな指導を行います。

- ワークデザインコース
 - ・「職業」での特色ある学びを通して、卒業後、主体的で豊かな社会生活を送るために必要な実際の・実用的な態度、習慣を育成します。（職業を設定）
- ライフデザインコース
 - ・「作業学習」「表現活動」という体験的な学習を通して、卒業後、主体的で豊かな社会生活を送るために必要な実際の・実用的な力や態度、習慣を育成します。（総合的な探究の時間（表現活動）を設定）

【 卒業後を見据えた現場実習の実施 】

第2学年で施設や事業所での実習（5日間）を2回行います。その中から卒業後に利用したい施設・事業所を選択し、第3学年は10日間、卒業後に働くことを前提とした実習を行います。現場実習は、卒業後を想定し、教員が引率せず卒業後に利用する場合と同様の形態（自宅からの通所、入所など）で実施します。



体カトレーニング



ワーク：手芸（職業）



ワーク：木工（職業）



ライフ：美術的表現活動



ライフ：紙すき（作業学習）



ライフ：委託（ミズゴケ管理）

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導/SHR				
2	体カトレーニング				
3	美術	作業学習	生活 単元 学習	作業 学習	生活 単元 学習
4			課題 学習		課題 学習
日常生活の指導					
5	作業 学習	保健 体育	総合的 な探究 の時間	LHR	音楽
6			日生/SHR		
7	日生/SHR				日生/ SHR

■コース制の週時程表（WORK・LIFE）

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導/SHR				
2	体カトレーニング				
3	W：職業 L：作業 学習	生活 単元 学習	W：職業 L：表現 活動	生活 単元 学習	W：職業 L：作業 学習
4		課題 学習		課題 学習	
日常生活の指導					
5	2年 音楽	2年 美術	総合的 な探究 の時間	LHR	2年 保健体育
6	3年 保健体育	3年 音楽	日生/SHR		3年 美術
7	日生/SHR				日生/ SHR

■教育課程の特徴

日常生活の指導（日生）や体カトレーニング、作業学習、生活単元学習、課題学習（国語・数学）、職業、音楽、美術、保健体育、特別活動、自立活動、総合的な探究の時間で教育課程を編成し、社会生活に必要な知識や技能の習得及び意欲、態度の確立を図っています。

□ コース選択について

卒業後の主体的で豊かな社会生活を送るには、どちらのコースが本人に合っているか、生徒、保護者が検討できるよう、授業参観や保護者懇談等を実施しています。

□ 自立活動の指導

自立活動は教育活動全体を通じて、生徒個々の自立活動の目標と各教科等の指導との関連を図りながら、効果的に指導を行っています。

□ スクールバスについて

札幌市手稲区、西区、北区と石狩市（厚田区と浜益区を除く）は、スクールバスを運行しています。

*登校時間 8：55（月～金）

*下校時間 14：15（水・木）/15：00（月・火・金）

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

- 福祉的就労（生活介護/就労継続B型）～25名
【トイシス山の手、あんみワークス、光生舎プラザインサッポロ、鈴の環、でんぐり富丘など】
- その他～3名【療養介護】、未定1名

学校Webページ



石狩管内

北海道札幌伏見支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒064-8514 札幌市中央区伏見4丁目4番21号
- 問 合 せ 先 TEL 011-520-5003
FAX 011-520-5004
E-mail fushimishien-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.fushimishien.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「やり方がわかる！ 自分で考え選ぶ！ やってみる！」
- 校 訓
「夢」「協働」「感謝」「笑顔」
- 概 要



本校は、平成28年に開校した知的障がいのある児童生徒が対象の特別支援学校です。小学部、中学部、高等部を設置し、札幌市内に在住する児童生徒が通学しています。児童生徒の障がいに伴う学習上の特性等を踏まえ、「分かりやすさ」「伝わりやすさ」を重視して教育環境を整え、活動の選択や意思表示等の主体的な行動を引き出す学習指導に力を入れています。

■特色ある教育活動

生徒一人一人の個性や能力、学びの特徴等を把握しながら、将来の生活につながる知識や技能等を身に付けるとともに、主体的に判断して行動することができる学習活動に取り組む。

【 選択授業1、2 】

高等部第2学年から、生徒が自分の学びたいことを選択する選択授業を設定しています。これまで身に付けてきたことや、得意なことを生かし、生徒が主体的に学ぶことができる教育活動を展開することを目的としています。また、自己選択・決定の経験を繰り返すことで、将来、可能な限り、自ら意思決定できる力を育成することを重視しています。

「選択授業1（作業学習）」では、接客サービスとアートクラフトのグループに分かれて学習を行っています。接客サービスでは、他者との相互的なやりとりをしながら学ぶことができる接客や清掃等のサービス活動に取り組みます。アートクラフトでは、決まった工程や手順等、分かりやすい学習環境の中で学ぶことができる製品加工（紙工、手芸等）に取り組みます。

「選択授業2」では、音楽や美術の学習に取り組み、自分の得意なことを生かしたり、挑戦したりすることを通して、一人一人の興味・関心を広げたり、深めたりしています。また、学習したことを伏見祭で発表したり、展示したりする機会を設けています。

【 地域学校協働学習 】

地域学校協働学習では、「自分の良さを地域の力に」をテーマにして、地域の企業等と連携した教育活動（就労体験）に取り組み、社会とのつながりを感じさせ、自分のやりたいことへの気付きを促したり、活動に対する意欲を高めたりしています。



選択授業1：紙すぎ準備



選択授業1：校内販売会



音楽：発表会



美術：絵画（デッサン）



地域清掃ボランティア



球技大会：ポッチャ

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	日生 SHR 保体	日生 SHR 保体	日生 SHR 保体	日生 SHR	日生 SHR 保体
2	LHR	生活単元 学習	音楽	作業学習	国語/ 数学
3	国語/ 数学				保健体育
4	日常生活の指導（給食準備、後片付け、歯みがき指導等）				
5	生活単元 学習	美術	総合的な 探究の時 間/特別 活動	作業学習	日常生活 の指導 /SHR
6					
7	日常生活の指導/SHR				

* 「日生」は日常生活の指導

* 登校時間 8：50（月～金）

* 下校時間 14：55（月～木）、13：20（金）

■教育課程の特徴

日常生活の指導や生活単元学習、作業学習を中心に教育課程を編成しています。また、生徒の興味・関心に基づき、地域の公共施設等を積極的に活用した学習や、地域の人と協働し、将来の生活に結び付く実践的な学習を行います。

□ 作業学習

作業活動を学習活動の中心とし、体験的、実践的な活動を通して、働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習します。

□ 自立活動の指導

個別の指導計画に基づき、学習や生活における学びの困難さから生徒の中心的な課題等を導き出すことで、自ら環境と関わり合う、また自己選択・自己決定を促す指導内容等の目標を設定し、各教科等の指導と関連付けながら学習を行います。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）


福祉的就労13名


【自立訓練1名、就労継続支援B型8名、生活介護4名】

学校Webページ



石狩管内	北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校	寄宿舍：無
		スクールバス：有

<p>■学校の基本情報</p> <p>□ 住所 〒005-0850 札幌市南区石山東3丁目4番1号</p> <p>□ 問合せ先 TEL 011-591-8811 FAX 011-591-6181 E-mail monami-z0@hokkaido-c.ed.jp</p> <p>□ 学校Webページ https:// www.monami.hokkaido-c.ed.jp/</p>	
---	---

<p>■本校の概要</p> <p>□ 学校教育目標 「やり方がわかる！ 自分で考え選ぶ！ やってみる！」</p> <p>□ 校訓 「夢」「協働」「感謝」「笑顔」</p> <p>□ 概要 本校は昭和39年に札幌養護学校の分教室として開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校で、高等部は平成12年度に設置されました。平成28年度からは札幌伏見支援学校の分校となっています。障がい上の特性、実態を踏まえ、個別に配慮しながら児童生徒の自発的な行動を促す学習を通して、「人間関係をつくる力」「コミュニケーション力」「社会環境への適応力」「はたらく力」「選択・決定する力」を育成しています。</p>	
--	--

<p>■特色ある教育活動</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>高等部の教育目標</p> <p>○自立した社会生活や職業生活に必要な実地的知識・技能を身に付ける。【知識及び技能】</p> <p>○情報を適切に活用し、将来の進路や生活について自ら考え、決定・伝達する力を高める。【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>○地域社会と深くつながり、多様な他者と良好な人間関係を構築しながら、社会の一員としての責任を果たす力を育む。【学びに向かう力、人間性等】</p> </div> <p>【 作業学習 】 クラフトサービス班、リサイクル班、手芸班の3つの活動班があり、高等部祭に向けて製品づくりを行っています。作業学習を通して課題を遂行する力を伸ばしたり、物を創り出すことの成就感を味わったりしながら、働くことの大切さを感じ、責任感、働く意欲、生活する力などを育成しています。</p> <p>【 校内実習 】 総合的な探究の時間の中で、校内実習を年2回実施しています。「もなみワークス」の名称で、校内や地域資源を活用し、清掃活動や、冬季に使用する滑り止め用の砂である「コロバース」の製造などを行っています。活動を通して、働く喜びを感じ、自己を見つめ、自らの生き方を展望し社会生活に必要な態度を育みます。</p> <p>【 現場実習 】 社会で働くことや卒業後の生活について見通しをもつため、また、作業学習等で身に付けた力を実際の職場や福祉事業所で発揮する機会として、現場実習を行っています。現場実習を通して、卒業後の進路選択の幅を広げたり、自己の適性等を理解したりします。</p>
--



クラフトサービス班：畑作業



リサイクル班：メモ帳作り



手芸班：リース作り



もなみワークス：コロバース作り



もなみワークス：駐車場整備



もなみワークス：キャンドル作り

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級／重複障害学級】

	月	火	水	木	金
1	日生	SHR			
	LHR	国語 ／ 自立活動	数学 ／ 自立活動	国語 ／ 自立活動	数学 ／ 自立活動
2	体づくり				
3	国語・数学	生活単元 学習	音楽	生活単元 学習	美術
4					
5	日常生活の指導（給食準備・配膳）				
	給食				
6	日常生活の指導（片付け・歯磨き）				
7	作業学習	保健体育	SHR	作業学習	SHR
8					
9	SHR			SHR	

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

※ 登校時間 8:45～9:00 (月～金)

※ 下校時刻 15:00 (月・火・木)
13:20 (水・金)

■教育課程の特徴

□ 作業学習

クラフトサービス班、リサイクル班、手芸班に分かれて学校祭に向けた製品づくりを行っています。作業学習を通して成就感を味わい、責任感、働く意欲、生活する力を育成するとともに、社会生活に必要な基礎的な知識や技能、態度を育てています。

□ 自立活動の指導

普通学級では学校の教育活動全体を通じて行います。重複障害学級では火曜日から金曜日の午前に帯の時間帯で設定しています。どちらもコミュニケーション手段の獲得、選択する力、いろいろな人と関わる力を身に付けるため、個別や集団など内容に応じて様々な教材を工夫し、ICTも活用しながら取り組んでいます。

□ 国語・数学

国語では、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する力を育成します。生活で必要な人と関わる力や伝える力が高まるよう取り組みます。

数学では、数学的活動を通して、数学的に考える力を育成します。数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質を理解するとともに、数学で学んだことを生活に活用できるよう、取り組みます。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

□ 福祉的就労～ 7名【就労継続支援B型2名、生活介護5名】

学校Webページ



石狩管内

北海道札幌高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒006-0829 札幌市手稲区手稲前田485番地3
- 問 合 せ 先 TEL 011-685-7744
FAX 011-685-7745
E-mail sakkouyou@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <https://www.sapporokoutouyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「自ら学び考え 豊かな生活を切り拓き
たくましく生きる生徒を育成する」

- 校 訓
「自 立」「協 同」「創 造」

□ 概 要

本校は平成10年に開校した高等養護学校です。札幌市を中心に、石狩管内や後志管内など道内各地の生徒が在籍しています。知的障がいのある生徒の特性や課題に応じ、作業学習や各教科等の学習を通して、日常生活に生かせる知識や技能を身に付け、目標をもって学び、考え、課題を解決する力の育成を目指します。寄宿舎では集団生活を通して、基本的生活習慣の定着や社会性の育成を図っています。



■特色ある教育活動

【 作業学習 】

所属する学科（農業科、窯業科、木工科、家庭総合科、クリーニング科）の作業に3年間継続して取り組み、生産から製品管理、販売までの一連の活動を通して実践的に学びます。また、生徒同士が教え合い、協力しながら作業を進めることで、主体性や協調性を育成しています。

生徒個々の課題を解決し働く力を高めるために、必要に応じて自学科以外の作業種や受注作業等を取り入れています。

【 進路学習 】

進路学習（職業）は、現場実習や進路見学、卒業生講話等と関連させながら、自身の将来や生き方について考え、社会人として必要な身だしなみや職場でのマナーなどを学習します。これらの学習を通して、生徒が得た知識や技能を将来の職業生活において実践的に活用できる力の育成を目指します。

【 地域との連携 】

生活に必要な実践的な力を養うため、地域との連携を重視した教育活動を行っています。外部講師を迎えた職業ガイダンスなどを実施し、生徒が「働くこと」や「生活すること」について具体的に考える機会を提供しています。また、近隣の小・中・高等学校との交流及び共同学習や製品販売会を通して、人と関わる経験を積み重ね、卒業後に生活する地域社会とのつながりを意識し、社会性の育成を図っています。



農業科



窯業科



木工科



家庭総合科



クリーニング科



外部講師によるマナー講座

■第1学年生徒の週時程表

【農業科・窯業科A組・窯業科B組・木工科A組】

	月	火	水	木	金
1	LHR	体力づくり			
2	国語				国語
3	情報	作業学習	作業学習	作業学習	職業
4	音楽				家庭
5	保健体育	美術	道徳	数学	
6			家庭	理科	

【木工科B組・家庭総合科・クリーニング科】

	月	火	水	木	金
1	LHR	体力づくり			
2	国語				国語
3	音楽	作業学習	作業学習	作業学習	家庭
4	数学				職業
5	美術	保健体育	家庭	理科	
6			道徳	情報	

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

* 登校時刻 8時50分(月～金)

* 下校時刻 15時25分(月・火・木) / 15時05分(水) / 13時45分(金)

■教育課程の特徴

働く力、生活する力、それらを支える体力を身に付ける教育課程です。さらに、社会生活の基盤となる「人とつながる力」を大切に、挨拶や相手を意識する態度、気持ちの安定にも取り組んでいます。人としての土台を育て、未来をたくましく生き抜く力を養います。

また、作業学習を教育課程の中核に据え、国語や数学など、各教科の学習と合わせて教育課程を編成しています。

□ 体力づくり

将来の働く生活に必要な基礎体力の向上と、健康の保持増進を図ることを目指します。

継続的に体を動かす中で、自身の体力の変化を実感し、自己理解を深めていきます。

□ 教科グループ別の学習集団

理科(1年次のみ)、社会(2年次のみ)、国語、数学、音楽、情報の各学習において、生徒の実態に応じた学習グループを編成しています。学習内容や指導方法はグループごとに最適化され、生徒が学びやすい環境を整えています。

□ 自立活動の指導

教育活動全体を通して指導しています。前期・後期の面談週間で個別に課題や目標を確認し、自己実現につなげます。

■卒業後の主な進路先について(令和7年度実績)

- 一般就労(就労継続支援A型含む) ～22名
【小売業、飲食業、清掃業、物流・運輸業、介護・福祉業など】
- 福祉的就労(就労移行支援/就労継続支援B型) ～15名
【就労移行支援事業所、就労継続支援B型事業所】
- 進学【職業訓練校】 ～1名

学校Webページ



石狩管内

北海道札幌稲穂高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住所 〒006-0034 札幌市手稲区稲穂4条7丁目12番1号
- 問合せ先 TEL 011-695-6922
FAX 011-695-6951
E-mail inahokoushi-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.inahokoushi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「夢に向かって 心豊かに カー杯躍動する 生徒を育てる」
- 校訓
「夢（稲穂ドリームの実現） 心（稲穂スピリットの育成）
力（稲穂パワーの発揮）」



□ 概要

本校は平成23年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、作業や教科などの学習により、生徒一人一人が社会の中で自分らしく生きていくための実践的な能力や可能性を伸ばします。それぞれの夢に向かって、生活年齢に応じた豊かな心を育みながらカー杯躍動できる学校生活づくりを目指しています。

■特色ある教育活動（設置学科：生産技術科 木工科 環境・流通サポート科 家庭総合科）

本校が目指す生徒像

- ・社会生活に必要な知識・技能、マナー・ルールを身に付けた生徒
- ・自分の願いや思いをしっかりと表出（言語化）できる生徒
- ・将来をイメージしながら、社会の一員として自立し、働くことができる生徒

【 生徒一人一人のキャリア発達を支援する教育活動 】

- ・作業学習を教育活動の中心に据え、段階的・発展的に現場実習などに取り組みます。
- ・社会の状況や学校、地域、生徒の実態を踏まえた各教科の学習に取り組みます。
- ・一人一人の教育的なニーズを考慮し、主体的・協動的に取り組むことができる学習グループを編成しています。
- ・生徒が「学ぶこと」の意義や面白さを実感でき、自分への気付きを深める教育活動（各行事の事前事後学習、生徒面談などを通じた「言語化」など）に取り組みます。

【 作業学習 】

- ・生産技術科は、様々な素材を主材料とする製品の製造や、地域資源を活用した学習に取り組みます。
- ・木工科は、木材を主材料とする製品の製造や、生産の基本的な流れについての学習に取り組みます。
- ・環境・流通サポート科は、清掃等の環境整備や、商品管理、事務などの学習に取り組みます。
- ・家庭総合科は、布製品の製作、手芸、住居管理、接客などの体験的な学習に取り組みます。

【 選択教科（音楽科／美術科）第2、3学年 】

生徒の個性を生かし、主体的に学習に取り組めるよう、自由に選択履修できる機会を設けています。

音楽科は、歌唱や楽器演奏、読譜法など、音楽に関わる基礎的な知識及び技能の習得を図りながら、表現及び鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への興味・関心を高めることを目標にしています。

美術科は、身近な材料・題材を扱う造形活動を通して、表現及び鑑賞能力を高め、自他の表し方や感じ方の良さに気付き、美術に対して自信をもって主体的に取り組むことを目標にしています。



生産技術科：紙工作業



木工科：機械作業



環境・流通サポート科：清掃作業



家庭総合科：縫工作業



保健体育：陸上（中距離走）



生徒面談週間（年3回）

■第1学年生徒の週時程表

【 学年共通（教科グループ：A） 】

	月	火	水	木	金
	自立活動				
1	保健体育	作業学習	保健体育	作業学習	職業
2	国語/数学		数学		家庭
3	情報		社会		国語
4	理科				保健体育
5	作業学習	教科調整時間	美術	外国語	LHR/道徳
6		総合	音楽	(隔週)生徒会	

【 学年共通（教科グループ：D） 】

	月	火	水	木	金
	自立活動				
1	保健体育	作業学習	保健体育	作業学習	国語/数学
2	情報		国語		社会
3	職業		外国語		理科
4	社会				保健体育
5	作業学習	教科調整時間	音楽	家庭	LHR/道徳
6		総合	美術	(隔週)生徒会	

※「総合」は総合的な探究の時間の省略

■教育課程の特徴

作業学習を中心に、生活に即した内容を学ぶ各教科の学習、特別活動及び総合的な探究の時間によって教育課程を編成しています。生徒一人一人の良さや課題を踏まえ、教育活動全体を通して、自立活動、道徳の指導を行います。

□ 作業学習

生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な知識及び技能、態度の基礎を身に付けることをねらいとしています。地域の方々と交流を深め、地域資源を活用した学習に取り組んでいます。生徒一人一人のキャリア発達を促すため、作業の意味や価値について丁寧に指導し、勤労観・職業観の育成を図ります。

□ 現場実習

第1学年で引率実習（1回）、第2学年で単独実習（2回）、第3学年で前提実習（1～2回）を実施し、生徒が学ぶ意義や働く意義を見いだして主体的に進路選択ができるよう、段階的な指導を行います。

□ 自立活動

朝に短時間で設定している自立活動では、健康への意識を高めたり、心理的な安定に特化した時間として活用しています。

この他、各教科等において、一人一人に応じた目標や内容を設定し、取り組んでいます。

- * 登校時間 8：40（月～金）
- * 下校時間 15：35（月～水）／
14：40（木・金）

※木は隔週（15：35）

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

- 就職（一般就労、就労継続A型）～ 4名【小売業、運輸業、サービス業など】
- 福祉的就労 ～ 16名【就労移行支援、就労継続支援B型など】

学校Webページ



石狩管内

北海道札幌あいの里高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住所 〒002-8074 札幌市北区あいの里4条7丁目1番1号
- 問合せ先 TEL 011-770-5512 (職員室直通)
FAX 011-770-5511
E-mail ainosatokoshi-z1@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.ainosatokoshi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「Go for your Dream.」
『夢のために、ベストを尽くす』
～今の自分を超越、より高みをめざそう～

- 校訓
「未来・チャレンジ・感謝」

□ 概要

本校は、平成28年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校で、今年開校11年目です。本校は、「職業学科」と「普通科」を設置しており、それぞれの学科において、生徒の教育的ニーズや学習上の特性等を考慮して教育活動を展開しています。

福祉と文教の地域であるあいの里の特色を生かし、地域と学校が協働した「あいcircle」の取り組みの他、周辺施設を活用した実習やインターンシップなど、生徒の自立と社会参加を目指した教育活動を行っています。



■特色ある教育活動

- 授業が分かり、学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付ける授業づくりをする。
- 地域の人たちが生徒をコミュニティの一員として認め、生徒一人一人が地域のメンバーであることを実感・自覚できる教育活動を行う。

【 生産技術科 】

作業学習では、木材や粘土を使った製品の製作を通して、勤労体験を豊かにし、働くために必要な実践的な態度を育てます。

【 環境・流通サポート科 】

作業学習では、清掃等の環境づくりや流通に関する実践的な学習を通して、地域社会で主体的、協働的に活動できる職業人を目指します。

【 被服デザイン科 】

作業学習では、布製品や手織り製品の製作・販売や染めの学習を通して、働くことの意義、喜び、楽しさや厳しさを知り、職業生活を送るために必要な力を身に付けます。

【 食品デザイン科 】

作業学習では、焼き菓子やパンの製造・販売、布製品の製作などを通して、生活に関連する職業の意義や学び、主体的・協働的に取り組む力を身に付けます。

【 福祉サービス科 】

作業学習では、児童福祉、高齢者福祉、地域福祉の学習を通して地域の一員として役割を発揮することを積み重ねながら、福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けます。

【 普通科 】

総合的な探究の時間において、自ら課題に気付き、必要な情報を収集し、整理・分析しながら、課題解決する力を身に付けます。インターンシップやワークシステム、個人やグループによる調査・研究・発表、大学等様々な学校や地域との交流学习等の単元に取り組む中で、自立と社会参加に向けて必要な資質・能力が身に付くように学習に取り組んでいます。



生産技術科：木工作業



被服デザイン科：布製品の製作



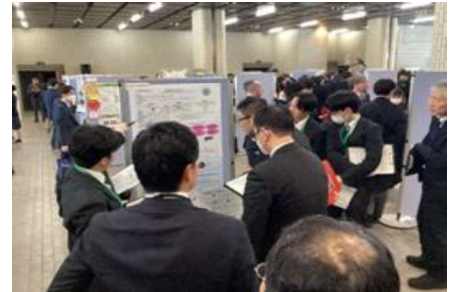
福祉サービス科：高齢者福祉



環境・流通サポート科：地域清掃



食品デザイン科：製パン作業



普通科：総合的な探究の時間

■第1学年生徒の週時程表

【 職業学科 】

	月	火	水	木	金
1	職業	作業学習	体力 づくり	理科	国語
2	体力 づくり		作業学習	外国語	家庭
3	社会			保健体育	美術
4	情報		数学		数学
5	社会生活	音楽	作業学習	LHR	
6	LHR/ 委員会	国語			

【 普通科 】

	月	火	水	木	金
1	職業	国語	体力 づくり	社会	理科
2	体力 づくり	社会	総合的 な探究 の時間	数学	音楽
3	外国語	情報		美術	保健体育
4	理科	音楽			
5	社会生活	家庭	国語	総合的 な探究 の時間	国語
6	LHR/ 委員会	数学	数学		LHR

■教育課程の特徴

□ 職業学科と普通科

職業学科は、製品の製造や販売、サービスに関する内容等、体験的な学習を中心に働く意欲を養い、働くために必要な力を総合的に学びます。

普通科は、各教科等の学習と総合的な探究の時間を中心に学習に取り組み、課題に気づき、解決する方法を考え、実践する力を身に付けます。

□ 教科別の指導

知的障がい特別支援学校の各教科の学習に取り組めます。各教科等の特性に応じて、課題別に学習グループを編制して学習に取り組めます。

□ 自立活動の指導

学習上、生活上の困難さを自ら改善・克服するために必要な力が身に付けられるよう、各教科等の指導では、生徒の自立活動の目標に関連する場面で指導と評価を行いながら、教育活動全般における自立活動の指導に力を入れています。

□ 地域と共に歩む教育活動

地域と学校が連携・協働して「あいcircle」を実施しています。参加者それぞれが主役になって自己実現できる場、様々な人が必要とされて関わり合える場を目指し、本校生徒も主体的に参加しています。地域の企業や商店、事業所の方、大学生、PTA等で協働して運営し、たくさんの地域住民に参加いただいています。

* 登校時間 8:50 (月～金)

* 下校時間 15:15 (月～金) *部活動は火曜・木曜を基本に16:45まで実施。

■卒業後の主な進路先について (令和7年度実績)

- 就職～32名 (一般就労19、就労継続A型13) 【小売業、介護補助、清掃業など】
- 福祉的就労～18名 (就労移行支援5、就労継続B型12、自立訓練1)
- 進学～5名 (職業訓練校、専門学校、定時制高校)

学校Webページ



石狩管内

北海道千歳高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒066-0045 千歳市真々地2丁目3番1号
- 問 合 せ 先 TEL 0123-23-6681
FAX 0123-23-6682
E-mail chitosekoushi-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.chitosekoushi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「志を持って社会を創る人間の育成」
- 校 訓
「挑戦」「創造」「協働」



□ 概 要

本校は平成25年に開校した高等支援学校です。知的障がいのある生徒を対象とし、生徒が学校や地域の中で多くの人と関わりながら、働く力や生活する力を身に付けることを目指しています。生産技術科と環境・流通サポート科の2つの学科を設置し、今年度は72名が在籍しています。

本校は通学型の学校です。生徒はJRやバスを利用し自力で通学しています。通学の機会をとおり社会のルールやマナーを学び、地域の中で生活する力を身に付けています。

■特色ある教育活動（設置学科：生産技術科 環境・流通サポート科）

目指す生徒像

「社会で力強く生きる力」を身に付け、生活に生かすことができる生徒

【 地域を生かした活動の充実 】

作業学習を通して、地域を活用した取り組みの充実を図りながら、学科の特色を生かした実習を行っています。生産技術科は千歳市役所からのネームホルダーの受注業務を行っています。環境・流通サポート科は地域の公共施設などの清掃活動や製本の受注を行っています。また、実践を通して流通の過程が学べるよう、計画的に即売会を実施しています。今年度は千歳市の千歳空港100周年事業と連携し、学校全体で多くの記念品の制作に取り組んでいます。

【 現場実習の充実 】

地域の企業や福祉サービス事業所などと連携を深め、3年間で4回の現場実習を設定し、職種に関わる適性を生徒自身が感じられる職業教育に取り組みます。

【 言語活動の充実 】

言語に対する関心や理解を深め、言語能力を育成するため、言語環境の整備や言語活動の充実を図ります。定期的実施している生徒個別面談や進路面談では、生徒自身が内面の変化や成長を実感できる関わりを大切にすることで、自己有用感や自己肯定感を高め、進路選択や進路決定につなげています。



生産技術科：木工製品づくり



生産技術科：革製品づくり



特設実習：カークリーニング



環境・流通科：清掃作業



環境・流通科：製本作業



即売会：地域での販売会

■第1学年生徒の週時程表

【 生産技術科 】

	月	火	水	木	金
1	体力づくり ・自立活動		自学科 実習	体力づくり ・自立活動	
2	社会/ 理科	国語		情報	数学
3	数学	保健体育		家庭	自学科 実習
4	音楽			美術	
5	自学科 実習	他学科 実習	職業	国語	LHR
6			総合	外国語/ 委員会	

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

*登校時間 8:45 (月~金) / 14:25 (金)

*下校時間 15:25 (月~木)

■教育課程の特徴

作業学習を中心として、現場実習や地域での活動など、地域社会や資源を活用した体験的な学習活動に積極的に取り組んでいます。

国語や数学、理科、社会、外国語、情報などの各教科の学習は相互に連携しながら基礎的・基本的な学力を育成し、将来の自立及び社会参加に繋がる確かな学力の育成に努めています。

□ 作業学習

第1学年では自分が所属する学科の自学科実習や所属以外の学科の他学科実習での作業学習を行い、働くための基礎となる力を培います。第2、3学年では職業生活に必要な知識や技能、実践的な態度を育てます。また、地域で積極的に作業を展開することを通して、実践的な力を育成しています。

また、第2学年では生徒の実態や課題に応じて学習集団や作業内容を設定した特設実習を行います。

□ 自立活動の指導

生徒が自分自身を見つめ、自己理解や他者理解を深め、進路選択や決定ができるよう、個々の自立活動の目標を考慮して、定期的に生徒面談を行っています。

■卒業後の主な進路先について (令和7年度実績)

- 一般就労 (就労継続支援A型含む) : 9名
- 福祉的就労 (就労移行支援/就労継続支援B型) : 13名
- 進学 : なし

学校Webページ



石狩管内

北海道白樺高等養護学校

寄宿舍：有

スクールバス：無

■ 学校の基本情報

- 住所 〒061-1264 北広島市輪厚621番地1
- 問合せ先 TEL 011-376-2353
FAX 011-376-2024
E-mail shirakabakoutouyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.shirakabakoutouyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■ 本校の概要

- 学校教育目標
「自己の能力を伸ばし 心豊かに たくましく生きる人を育てる」
- 校訓
「自主」「自立」「自省」



□ 概要

本校は昭和40年に、全国で初めて職業学科を設置する高等部の特別支援学校として開校し、今年度で開校60年目を迎えました。知的障がいのある生徒に、学校や社会の中で「生活する力」「働き続ける力」を養うことを目的とし、六つの学科を設置しています。また、寄宿舍を設置しており、集団生活の中で基本的な生活習慣を身に付けたり対人関係等を学んだりして、社会自立する力を養っています。入舎期間は1年単位で、入舎・通学を選ぶことができます。

■ 特色ある教育活動

(設置学科：生産技術科 窯業科 木工科 工業科 家庭総合科 クリーニング科)

自主、自立、自省の姿を身に付け、青年期的人格形成を図る知識や技能を習得する。

【 作業学習 (働く力を身に付ける) 】

3年間で複数の作業種を学習します。様々な作業種を経験することにより、経験の拡充を図り、適応力を身に付けるとともに、進路選択に対する関心を高めます。第1学年は、全学科で基礎作業に取り組み、挨拶や返事、報告などの基礎・基本を学びます。第2学年からは、学科に応じた作業種に取り組みます。

【 体力づくり (健康・安全、自己の課題に向き合う) 】

週4回、1校時に屋外で2.5km走、グラウンドの周回走、グラウンドの外周走に学年ごとに取り組みます。また、冬期間や悪天候時には、屋内で筋力トレーニングやエアロビクス運動を行い、課題や目的をもって取り組む態度や健康、安全に対する意識を高めます。

【 進路に関する取組 (生活する力、働き続ける力を身に付ける) 】

- 希望する就労の実現に向けて
企業説明会、職場・事業所見学、先輩と語ろう、外部講師の模擬面接、進路面談、企業講話
- 現場実習
 - ・第1学年は、1週間の体験的な実習を通して、今後の進路選択に生かします。
 - ・第2学年は前期1週間、後期2週間、企業等で体験実習を行います。生徒の実態に応じて、教員が引率する実習、グループでの実習、個人での実習の3形態で行います。
 - ・第3学年は4週間、卒業後の進路決定を前提とした実習を行います。



全学科：基礎作業



木工科作業



体力づくり：マラソン



美術



職場実習：介護施設



現場実習：クリーニング会社

■第1学年生徒の週時程表

	月	火	水	木	金	
1	体力づくり	国語	数学	体力づくり		
2	作業学習	数学	国語	作業学習	情報	
3		美術・家庭 保健体育	情報		音楽	美術・家庭 保健体育
4						
5		職業	総合的な探究の時間		社会	理科
6	理科			社会	保健体育	

- * 登校時間 8：50（月～金）
- * 下校時間 13：45（金）15：20（月～木）

■教育課程の特徴

- 作業学習
3年間で複数の作業種を学習することで、経験を広げ、自己理解を深めます。
- 体力づくり
毎日、1校時に体力の向上を目指して行います。5月頃から10月頃までは、屋外でマラソンなどの運動を行い、冬期間や悪天候時は、屋内で筋力トレーニングやエアロビクスなどの運動を行います。
- 進路
進路の学習は、職業や進路、将来に向けた自己の生き方などについて考えることを通して、社会の中で生きる力を育むことをねらいとしています。作業学習や職場・福祉サービス事業所見学、現場実習などに関連付けて行います。
- 自立活動の指導
心身の調和的発達の基礎を培うことを目標に教育活動全体を通して行います。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

- 一般就労～20名【運輸業、小売業など】
- 福祉的就労（就労移行支援／就労継続A型／就労継続B型／自立訓練）～23名
- 進学 ～1名【はまなす食品株式会社能力開発センター】

学校Webページ



石狩管内

北海道新篠津高等養護学校

寄宿舍：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒068-1115 石狩郡新篠津村第45線北13番地
- 問 合 せ 先 TEL 0126-58-3280
FAX 0126-58-3281
E-mail shinko-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.shinko.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

学校教育目標

「たくましく自立する人の育成」

校 訓

「すすんでやりぬく人」

概 要

本校は、平成5年に開校した知的障がいのある生徒を対象とする高等養護学校で、全校で134名の生徒が在籍しています。本校では、生徒の学習上の特性等を踏まえ、作業学習や実的な学習などの授業を展開することにより、卒業後の自立と社会参加を目指し、「主体的に学びを深め、豊かな心とつよい体をもった生徒」を育成しています。寄宿舍では、多くの仲間との生活を通して、規則正しい生活習慣の確立と感謝する心や思いやる心の涵養、他と協調できる力の育成を目指して共同生活をしています。



■特色ある教育活動

【 園 芸 科 】

農場や温室で野菜、豆類、花の栽培に取り組みます。屋外での作業を通して、体力を付け、卒業後の生活に適應できる能力や態度、習慣が身に付くように取り組みます。

【 生産技術科 】

コーヒー豆加工と紙工作業を中心に取り組みます。地域でのコーヒー豆の出品やカフェの運営を通して、達成感を味わい、働く経験が豊かになるように取り組みます。

【 窯 業 科 】

茶碗、皿などの小物から、どんぶり、大皿などの大きな食器の製作などにも取り組みます。製品は製品販売会のほか、新篠津村の温泉施設などでも販売を行っています。

【 木 工 科 】

2×4材(ツーバイフォーざい)による製品製作などを行い、易しい題材から難しい題材へと発展的に学習内容を設定しています。働く力を育成することを第一に考えた学習に取り組みます。

【 家庭総合科 】

縫工製品の製作を中心に、生活に関連した内容を主とした作業学習を展開します。製品販売では接客を通して、コミュニケーション能力の向上を図り、生徒の自己肯定感を養う学習に取り組みます。

【 クリーニング科 】

おしぼり加工、アイロン掛け、機械プレス等のクリーニング作業に取り組みます。自ら働く力を育成し、最後まであきらめない力を養います。



園芸科：夏野菜の管理



生産技術科:コーヒーリップ練習



窯業科：茶碗の製作



木工科：製品の加工



家庭総合科：ミシン掛け



クリーニング科：シーツの機械加工

■第1学年生徒の週時程表

【園芸科及び木工科】

	月	火	水	木	金
1	総合的な探究の時間	体力づくり	体力づくり	体力づくり	
2	作業学習	作業学習(他学科)	保健体育	保健体育	作業学習
3			音楽	音楽	
4			職業／ 道徳	実的な学習の時間	
5	国語	国語	情報	実的な学習の時間	LHR/ 生徒会活動
6	数学	数学	実的な学習の時間	実的な学習の時間	
放課後	部活動			部活動	

* 登校時間 8:30~8:40 (月~金)

* 下校時間 15:30 (月・火・木) / 15:20 (水) / 14:25 (金)

■教育課程の特徴

作業学習を中心に、実的な学習の時間や国語、数学、音楽、保健体育などの各教科の学習に取り組んでいます。

□ 作業学習

所属する学科での実習を通して、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習します。1学年では所属する学科のほか、他の学科の実習を一定期間体験し、作業能力の向上を図ります。

□ 実的な学習の時間

社会的、理学的、家庭的な内容を中心に、将来の生活につながる内容(社会生活に必要な内容)を実際の、総合的に学習します。

□ 体力づくり

全学年週3時間、ランニングやエアロビクス、筋力トレーニングなどに組み込みます。体力の向上とあわせ、意欲などの精神面の充実(内面の変化や成長)も目指しています。

□ 自立活動の指導

心身の調和的な発達の基盤を培うことを目標に、教育活動全体を通じて学習します。

■卒業後の主な進路先について(令和7年度実績)

- 一般就労：14名(就労継続支援A型含む)
【製造業1、サービス業2、小売業1、運輸業1、農業1、就労継続支援A型8】
- 福祉的就労：23名【就労移行支援4、就労継続支援B型19】
- 進学：1名【短期大学通信教育課程(入学資格取得)1】

学校Webページ



後志管内

北海道余市養護学校

寄宿舍：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒046-0023 余市郡余市町梅川町377番地3
- 問 合 せ 先 TEL 0135-23-7831
FAX 0135-23-6199
E-mail yoichiyougo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.yoichiyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
生き生きと学び 地域社会で豊かに生活する 児童生徒を育てる
- 目指す児童生徒像
 - 主体的に学び 活かそうとする 児童生徒
 - 伝え 認め合い 協働しようとする 児童生徒
 - 自分の力を発揮し 社会参加しようとする 児童生徒
- 概 要



本校は平成3年に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。小樽市在住の児童生徒を中心に後志管内から児童生徒が通学しています。小学部42名、中学部20名、高等部34名、訪問部教育学級22名の合計118名が在籍しています。訪問教育学級は在宅が4名と北海道済生会小樽病院みどりの里に入所している児童生徒が18名です。知的障がいのある児童生徒の学習上の特性等を踏まえ、「分かる」「できる」「いきる」指導の充実を目指した学習に取り組んでいます。卒業後の自立と社会参加を目指し、家庭や地域社会等と連携し、一人一人の将来を見据え「生きる力」「生きる喜び」を確かに育むために、「今」の教育の充実を図っています。

寄宿舍には、遠隔地に居住する児童生徒が8名入舎しています。個々の教育的ニーズに応じた指導や支援に努めながら、基本的生活習慣の確立を目指しています。また、行事への参加や余暇活動を通して心の安定を図り、豊かな生活につながるよう努めています。

■特色ある教育活動

- ア 社会生活に必要な、知識・技能を身につけ、健康な体と態度を育てる。
- イ 積極的に人と関わり、自己を表現し、他者と協力して活動する力を育てる。
- ウ 自ら選択し、意思決定しながら、主体的に社会参加し、豊かに生活する力を育てる。

【 国語、数学 】

国語では、「読む」「書く」「話す」「聞く」、数学では、「金銭」「時間」「計算」など日常生活に必要な基礎的な内容の習得に取り組みます。こうした内容を、実際の生活や具体的な活動と関連付けて学ぶことを大切にしています。

【 職業 】

職業では、作業活動を学習の中心とし、ものづくりの喜びを体感するとともに、将来の職業生活や社会自立に必要な知識や技能、態度や働く意欲を身に付けられるよう取り組みます。

- (ア) 製品づくりや製品販売学習を通じた、将来の働く生活への意識の涵養やいろいろな人との関わり方に関する力の育成
- (イ) 現場実習を通じた日頃の学習の成果の確認や、卒業後の生活への関心の育成
- (ウ) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方に関する力の育成

【 自立活動 】

自立活動を時間割に位置付け、生徒一人一人の良さや課題に着目しながら、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善するための指導に取り組みます。



職場体験学習



自立活動



現場実習



職業：手芸グループ



高等部祭：販売会



体育記録会：投てき

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	自立活動の指導・朝のSHR				
2	数学	自立活動	国語	自立活動	国語
3	総合的な探究の時間	職業	音楽	生活単元学習	職業
4	保健体育	職業	保健体育	生活単元学習	職業
5	日常生活の指導				
6	生活単元学習	自立活動	美術	数学	LHR
7	自立活動／日常生活の指導		自立活動／日常生活の指導		

* 登校時間 8:55 (月～金)

* 下校時間 14:30 (月・水・木・金) / 13:30 (火)

■教育課程の特徴

学校生活で身に付けた力を将来の社会生活や家庭生活の場で発揮できるよう、地域資源を活用し、人々との交流を重視した体験的な学習に取り組みます。また、生徒一人一人の学習状況や到達の度合いに応じた学習活動を行っています。

□ 自立活動の指導

「身体の動き」「コミュニケーション」「人間関係の形成」を中心とした指導のほか、生活単元学習や日常生活の指導と関連付け、生徒の良さや課題に応じた学習に取り組んでいます。

□ 各教科の学習

国語、数学、音楽、美術は、学年ごとに指導を行っています。保健体育や職業は、生徒の目標等に応じて、学部全体を複数のグループに分け、指導を行っています。

□ 現場実習

生徒が事業所に通い、作業等の体験をしています。

- ・第1学年3日間、町内の事業所で引率実習
- ・第2学年5日間、居住地の事業所で単独実習
- ・第3学年10日間、卒業後の進路希望先で実習

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

□福祉的就労～6名

【移行支援・就労継続B型1名、生活介護3名、療養介護等2名】

学校Webページ



後志管内

北海道余市養護学校しりべし学園分校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 原則として中学部から在籍している方を対象とした特別支援学校

■学校の基本情報

- 住 所 〒048-0101 寿都群黒松内町黒松内564番地
- 問 合 せ 先 TEL 0136-72-3903
FAX 0136-72-3903
E-mail yoichiyougoshiribeshi-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.yoichiyougoshiribeshi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
生き生きと学び 地域社会で豊かに生活する 児童生徒を育てる
- 目指す児童生徒像
 - ・明るく 元気な 子ども
 - ・仲良く 助け合う 子ども
 - ・力強く 頑張る 子ども
- 概 要



本校は、昭和54年に障がい児入所施設「しりべし学園」の児童生徒が通うために開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある児童生徒の学習上の特性等を踏まえ、生活単元学習、作業学習、地域との交流などを通して、地域の中で豊かに生活し、社会生活に必要な知識や技能、主体的に取り組む力を養うための教育を行っています。

■特色ある教育活動

学部の教育目標

- ・社会生活や職業生活の中で、主体的に取り組み、自らの考えを表現する力を育てる。
- ・社会生活や職業生活の中で、自分の強みを生かしながら協働する力を育てる。
- ・社会生活や職業生活の中で、自分らしく社会の一員として生活する力を育てる。

【生活単元学習】

運動会や学習発表会等の行事の学習のほか、学級や学部全体で地域の自然豊かな資源を生かした様々な単元の学習に取り組めます。

《主な学習活動》

- ・町内の施設の活用（自然体験情報センターやふれあいの森情報館、パークゴルフ場など）
- ・町内の清掃活動（近隣施設や学校周辺の清掃）
- ・ブナ林や鳥、花の観察や記録

【作業学習】

園芸・農業、リサイクル、軽作業、除雪、製作に取り組めます。2週間の現場実習では、第1学年は、校内実習、第2学年は、町内引率体験実習、第3学年は、生徒一人で行う体験実習又は卒業後に働くことを前提とした実習を行います。

《主な学習活動》

- ・畑での野菜の栽培、花壇の手入れ、キャンドルのリメイク作業
- ・空き缶やペットボトル、古紙などのリサイクル作業
- ・学校の敷地内の除雪作業

【総合的な探究の時間】

寿都高等学校の生徒とレクリエーションや制作学習を通じた交流及び共同学習、商店や公共施設の利用、地域の自然に触れる学習などに取り組めます。



生活単元学習：野外活動



作業学習：封筒作り



総合的な探究の時間：
高校との交流学习



保健体育：歩くスキー



作業学習：除雪（ボランティア）



総合的な探究の時間：発表

■第1学年生徒の週時程表

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	国語・数学				
3	作業学習	作業学習	生活単元学習	作業学習	生活単元学習
4					
5	自立活動	保健体育	音楽	美術	保健体育
6	生活単元学習	日常生活の指導	日常生活の指導	特別活動	日常生活の指導
7	日常生活の指導			日常生活の指導	

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

- * 登校時間 9：00（月～金）
- * 下校時間 15：10（月・木）
14：20（火・水・金）

■教育課程の特徴

作業学習や生活単元学習、体力づくり、日常生活の指導を中心的な学習として、音楽や美術などの教科の学習、自立活動の時間等を適切に配置し、関連付けながら教育課程を編成しています。卒業後の社会生活を見据え、一人一人のキャリア発達を促す教育活動を展開しています。

- 作業学習
働くことへの意欲を高め、協力して取り組む力や、働くために必要な知識や技能、態度及び習慣など育成することを目指した学習に取り組みます。
- 保健体育
運動経験の拡大や、健康・安全についての理解を通して生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てます。冬季は、自然豊かな環境の中で「歩くスキー」を行っています。
- 体力づくり
心身の健康の保持増進を目指して、基礎的な運動に継続して取り組んでいます。持久走やストレッチ運動、バランスボールを使った体ほぐし運動、サーキットトレーニングなどを行い、筋力や体幹の向上、基礎体力の向上を図ります。
- 自立活動
生活習慣の確立、コミュニケーション能力の向上、社会参加に必要なスキル習得などを目的とし、個に応じた学習を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

- 施設入所、生活介護 1名
- 就労継続支援B型事務所、グループホーム 1名

学校Webページ



後志管内

北海道小樽高等支援学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住所 〒047-0261 小樽市銭函1丁目10番1号
- 問合せ先 TEL 0134-61-3400
- FAX 0134-61-3430
- E-mail otarukoushi-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.otarukoushi.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「豊かな心を持ち 力をあわせて 生き生きと活動する
生徒を育てる」
- 校訓
「感動」「協働」「躍動」
- 概要



本校は平成21年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。今年度は144名の生徒が在籍しています。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、作業学習、各教科、進路の学習などにより、卒業後の自立と社会参加を目指し、将来、社会人・職業人として必要な力を養うことを目指した教育を行っています。寄宿舎では、集団生活を通し、自主的・自律的に生活する力の定着を図っています。

■特色ある教育活動

今年度の重点目標

生徒たちの「こころの実り」、「つながりの実り」、「自分らしさの実り」を育む
～生徒たちの可能性を引き出し、チャレンジを支える学校を目指して～

- 各学科の作業学習と『地域資源を活用した教育活動』について
 - 【 生産技術科 】
牛乳パックから和紙を作り、様々な紙製品に加工する紙工実習を中心に、グラスやクリアホルダーに文字などを加工するサンドブラスト実習や、焼き物を作るセラミック実習、キーホルダーや小物入れなどを製作する革工実習、花壇を整備する園芸実習、清掃実習を行っています。
 - 【 木工科 】
木材を使って木べらやラック、トレー、椅子などの製作を行い、学校祭などの行事で販売しています。また、地域の小学校の児童と木工製品作りを通じた交流学習にも取り組んだり、地域や関係機関の方々からの依頼された製品を作ったりしています。
 - 【 環境・流通サポート科 】
校舎の清掃活動、学校要覧などの印刷、丁合、製本などの学習を行います。また、学校近くの海水浴場や地域、学校での清掃活動、老人会と連携した独居老人宅の窓清掃や除雪活動に取り組んでいます。その他に、地域において除草、ごみ拾いなどの清掃活動にも取り組んでいます。
 - 【 家庭総合科 】
縫工実習では、バッグやポーチ、巾着袋など段階に応じて大小様々な製品作りに取り組んでいます。また、製菓実習では各学年5、6種類のパンを製造し、校内のカフェで保護者や地域の方に販売をしています。
 - 【 福祉サービス科 】
高齢者への介護技術や家事援助の学習、週三日営業している校内カフェでの接客、焼菓子の製造などを行います。介護職員初任者研修を受講し、専門的な内容を深めて資格取得を目指すことができます。



生産技術科：サンドブラスト



木工科：木材加工



環境・流通サポート科：窓清掃



家庭総合科：被服



福祉サービス科：介護



寄宿舎：舎友会総会

■第1学年生徒の週時程表

【 生産技術科 】

	月	火	水	木	金
1	国語	作業学習	保健体育 (体トレ)	作業学習	社会
2	数学		数学		理科
3	情報		音楽		職業
4	家庭		国語		外国語
5	進路学習 / 道徳	保健体育	美術	保健体育 (体トレ)	LHR
6					

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

※「体トレ」は体カトレーニングの略

*登校時間 8:00~8:40 (月~金)

*下校時間 15:30~ (月~水) / 14:30~ (木・金)

■教育課程の特徴

- 『働く力、生活する力を高める学習』
作業学習では、働くために必要な知識、技能、態度を身に付けます。「地域とのつながり」を大切に、現場実習や就業体験を充実させるなど、望ましい勤労観や職業観を身に付け、将来の進路選択につなげています。
また、社会生活に必要な学力を身に付けるため、国語、数学、社会、情報、家庭、外国語などの教科学習を行います。
- 『進路学習（総合的な探究の時間）』
個性を生かした進路選択ができるよう、卒業後の仕事、生活、余暇などについて学習します。
また、「キャリアカウンセリング」では、学校生活の自分の目標を、学級担任や作業担当と相談しながら一緒に考えます。
- 『自立活動の指導』
一人一人の重点目標を踏まえ、主に「健康の保持」「人間関係の形成」「コミュニケーション」「心理的な安定」など自立活動の6つの区分と項目を踏まえ、具体的な指導目標を設定し、指導を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

- 一般就労（就労継続支援A型含む）～23名
【接客・サービス、医療・福祉、流通など】
- 福祉的就労（就労移行、就労継続支援B型など）～23名
- 進学～2名

学校Webページ



胆振管内

北海道室蘭養護学校

寄宿舍：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒050-0061 室蘭市八丁平3丁目7番27号
- 問 合 せ 先 TEL 0143-45-8270
FAX 0143-45-8195
E-mail muroranyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.muroranyougo.hokkaido-c.ed.jp/>



■本校の概要

- 学校教育目標
「夢や可能性に向かい、心豊かにたくましく生きることができる」
児童生徒の育成
- 「毎日笑顔で生き生きと、楽しく過ごすことができる」児童生徒
- 「自己選択、自己決定ができる」児童生徒
- 「思いやりをもって、人とかかわり協力しながら取り組むことができる」児童生徒
- 「主体的に学び、生活することができる」児童生徒



□ 概 要

昭和54年に開校した「平取養護学校白鳥学園分校」を前身とし、平成3年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。現在は、知的障がいのほか、肢体不自由、聴覚障がい、視覚障がい、病弱など複数の障がいを併せ有する生徒が在籍しており、医療的ケアの必要な生徒も在籍しています。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、個別のニーズに応じた内容と多様な集団での学習を通して、将来の社会生活や地域活動に参加する上で必要となる力や望ましい生活習慣を養うための教育を行っています。児童生徒を真ん中に一人一人を主語にした取り組みの充実に努めています。

■ 特色ある教育活動

●高等部キャッチフレーズ「いきいき自立」

～卒業後を見据え、一人ひとりに合わせた自立した生活をいきいきと送っていただけるように、それぞれの良さを伸ばしつつ、社会とつながった学習を充実させていくステップ～

青年期の生徒に対し、その心身の発達段階と障がいの状況に応じた教育を行うとともに、自ら学び意欲を養い、たくましく社会生活を送るための知識、技能、習慣を育成する。

- (1) 中学部、中学校で培った力の定着や拡大・応用を図り、進んで学び、心身共に健康で豊かに生活しようとする態度を育てる。【生き生き過ごす】
- (2) 青年期として必要な知識、技能、体力、習慣を育てるとともに、自ら選択し、意思決定しながら、社会参加する力を育てる。【自己選択・自己決定】
- (3) 集団生活に進んで参加し、対人関係を豊かに広げ、自分を信頼し、相手を思いやる気持ちをもって協力する習慣や態度を育てる。【思いやり・協力】
- (4) 基本的な生活習慣を身に付け、家庭生活や社会生活、職業生活を営む能力を養うとともに、自立的な生活に必要な知識、技能、態度を育てる。【主体的な学び】

【 北海道大谷室蘭高等学校との交流及び共同学習 】
互いに訪問し合い、作品交流や作業学習、レクリエーション等の活動を通して交流しています。

【 高齢者施設との交流学习 】
本校の学校紹介や各学年の発表をしたり、壁画を制作して作品交流等をしてしています。

【 国際交流学习 】
ALTや地域の外国人と交流を年数回行い、外国語や外国の文化をレクリエーション等を通して学んでいます。



校外学習



体育大会



体力づくり（歩くスキー）



作業学習（農耕班）



見学旅行



蘭学祭

■第1学年生徒の週時程表（普通学級）

曜日	月			火			水			木			金			
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
1	日常生活の指導 ・自立活動			日常生活の指導 ・自立活動			日常生活の指導 ・自立活動			日常生活の指導 ・自立活動			日常生活の指導 ・自立活動			
2	国語・数学/自立活動			作業学習			国語/数学	音楽	美術	国語/数学	音楽	美術	国語/数学	音楽	美術	
3	HR（特別活動）						作業学習/自立活動			生活単元学習			生活単元学習/ 総合的な探究の時間			
4	総合的な探究の時間/ 委員会			日常生活の指導			日常生活の指導			日常生活の指導			日常生活の指導			
5	保健体育/ 体力づくり （類型B：自立活動）			国語/数学			日常生活の指導			作業学習			体力づくり/ 保健体育 （類型B：自立活動）			
6	日常生活の指導			日常生活の指導						作業学習			日常生活の指導			
7	日常生活の指導			日常生活の指導						日常生活の指導			日常生活の指導			
8	日常生活の指導			日常生活の指導			日常生活の指導			日常生活の指導			日常生活の指導			
下校時刻		15:10			14:20			13:20			15:10			15:10		

■教育課程の特徴

学校目標、学部目標を踏まえて、「各教科等を合わせた指導」（日常生活の指導、体力づくり、生活単元学習、作業学習）を中心に、「教科別の指導」（国語、数学、社会、理科、音楽、体育、美術）や「自立活動」などから教育課程を編成しています（3パターンの時間割があります）。

□ 作業学習

「木工」「クリーニング」「農耕」「手芸」「紙工」「クラフト」「清掃」などを通して、卒業後の日中活動や仕事で必要とされる基礎的な力を育成しています。

□ 現場実習（総合的な探究の時間）

卒業後の実際的な生活を見通し、地域の事業所等での実習を行います。

□ 自立活動の指導

自立活動の時間を設け、個々の教育的ニーズに応じた指導を行っています。また、各授業の中で生徒個々の自立活動の目標を踏まえた指導を行っています。

* 登校時間 9:00（月・火・水・木・金）

* 下校時間 15:10（月・木・金）/14:20（火）/13:20（水）

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

□ 就労継続B型11名、施設入所3名、生活介護3名

学校Webページ



胆振管内

北海道伊達高等養護学校

寄宿舍：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒052-0012 伊達市松ヶ枝町105番地13
- 問 合 せ 先 TEL 0142-25-5115
FAX 0142-25-5115
E-mail datekoyo-post@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.datekotoyogo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「自ら学ぶ力を高め 豊かな心とたくましい体を育み
目標に向かって働く力を身に付け 新しい時代の社会に貢献する生徒を育てる」



- 校 訓
「希望 自立 前進」

- 概 要
本校は昭和56年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、作業学習を中核とした学習指導を通して、社会で「働く力」「生活する力」を育成しています。また、学校と寄宿舍が連携し、社会自立を目指した生活指導を行っています。



■特色ある教育活動

- 【 園芸科 】
花(花苗、鉢花、ドライフラワー、ハーブ、藍染めに使用する藍を育てています。育てた花苗は地域や学校の花壇に植えています。また、ドライフラワーやハーブを使った製品作りをしています。これらの作業を通して、地域や社会で必要とされる資質・能力や社会人として必要な態度を身に付けます。
- 【 窯業科 】
湯のみ茶わんやコーヒーカップなどの陶器を制作し、地域の店舗や学校祭で販売しています。これらの作業を通して、自己理解を深め、勤労と社会のつながりを学ぶとともに、社会自立に必要な能力や態度を身に付けます。
- 【 農業科 】
無農薬野菜の生産から加工、販売までの一連の活動を通して、地域社会とのつながりを大切にしています。伝統作物を守るほうき作りや藍染めも本校の特色です。多様な作業学習を通じ、働くことの尊さを学ぶとともに、自立した社会人として必要な技能や協調性を身に付けます。
- 【 木工科 】
ベンチやツールなどの木工製品を製作しています。また、これまでに販売した伊達市内外のベンチの補修をしています。これらの作業を通して、社会自立に必要な能力を身に付けるとともに、目標に向かって前進する態度を身に付けます。
- 【 工業科 】
民地仕切石や歩道平板など13種類のコンクリート二次製品の製造に取り組んでいます。また、鋼板を加工した焼き鳥焼き器やレジャーコンロ、くん製器などの製作も行っています。これらの作業を通して、勤労の意義を学ぶとともに、社会自立に必要な基礎的な能力や態度を身に付けます。
- 【 家庭総合科 】
清掃作業や調理実習、縫工作業に取り組んでいます。また、校外作業として近隣施設の窓清掃も行っています。これらの作業を通して、勤労の意義や社会とのつながりを学び、社会自立に必要な能力や態度を身に付けます。



園芸科：花壇造成



窯業科：コーヒーカップ制作



農業科：除草



木工科：郵便書き



工業科：打ち込み



家庭総合科：ロックビスケット作り

■第1学年生徒の週時程表

	月	火	水	木	金
1	家庭	体づくり	職業	体づくり	体づくり
2	体づくり	理科	総合的な探究の時間	作業学習 (自学科)	国語
3	作業学習 (自学科)	保健体育	作業学習 (自学科)		音楽/美術
4					
5	社会/外国語	作業学習 (選択)	特別活動	数学	
6				情報	

■教育課程の特徴

「働き続ける力」「生活する力」の育成を目指し、作業学習、体づくりを中核とし、各教科間の関連をもたせた教育課程を編成しています。
また、生徒個々の教育的ニーズに応えるため、学科や教科等の特性を生かしながら、3年間を見通した系統的な指導計画の下、指導方法の工夫を図っています。

本校のスクールキャラクター
「サムアイ」くん



□ 作業学習（自学科作業・選択作業）

所属する学科の「作業学習」を中心に3年間取り組みます。勤労の意義を理解し、職業生活に必要な知識や技能、態度及び習慣を身に付けることを目指しています。

第1、2学年は、主体的な進路選択につなげることをねらいとし、所属する学科以外の作業種に取り組み「選択作業」の学習を行っています。

□ 作業学習（現場実習）

地域の企業や福祉事業所で働く経験を通して、職業人としての基本的な知識や技能、態度及び習慣を身に付けることをねらいとして現場実習を行っています。学年によって実習の目的、回数、期間、引率教員の有無等が異なり、生徒一人一人の課題や進路希望に応じた実習形態を工夫しています。

○ 第1学年：秋季2週間 ○ 第2学年：秋季2週間、冬季2週間

○ 第3学年：卒業後の希望の進路先での現場実習を2～4週間

□ 各教科別の学習（国語、数学、理科、社会など）

社会生活に必要な知識や技能、態度及び習慣を身に付けることをねらいとしています。「ホームルーム別」「複数のホームルーム合同」「課題別的小グループ」等、教科の特性や生徒の実態に応じた学習集団を工夫しています。

□ 自立活動の指導

本校では、自立活動の目標を個人の年間の重点目標として日々指導にあたっています。教育活動全体を通して、自立活動の指導を行っています。

* 登校時間 8：25（月～金）

* 下校時間 14：20（月・水）／15：05（火・木）／13：15（金）

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

□ 一般就労（就労継続支援A型含む）～15名【販売業、清掃業など】

□ 福祉的就労～26名【就労移行支援、就労継続支援B型など】

□ 進学～1名

□ 未定～1名

合計43名

学校Webページ



日高管内

北海道平取養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒055-0107 沙流郡平取町本町112番地7
- 問 合 せ 先 TEL 01457-2-3178
FAX 01457-2-3256
E-mail birayo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.birayo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「未来に向かい よろこびをもって生きる 子どもを育てる」
- 校 訓
「よく考え学ぶ子ども」「豊かな心をもつ子ども」
「命と体を大切にすること」



□ 概 要

本校は昭和53年に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。平成10年に高等部が設置されました。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、作業学習や生活単元学習など地域資源を積極的に活用した学習により、卒業後の自立と社会参加を目指し、働く力や生活する力を養っています。寄宿舎では、集団生活を通して社会性の向上や基本的な生活習慣の定着を図っています。

■特色ある教育活動

高等部の教育目標

- ア 進んで学び行動できる生徒
- イ 場や状況に応じて、自分の気持ちを人に伝える生徒
- ウ 心と体を大切にすること

【 多様化する生徒の状況に対応したコース制の導入 】

障がいの程度や種類が多様化している中、生徒一人一人の教育的ニーズや進路希望等に応じた教育課程の編成を目指し、令和2年度からコース制を導入しました。コースはワークコース、ライフコース、ライフベーシックコースの3つがあります。

コースでの学習は第2学年から始まり、生徒の興味・関心や自分の学び方に適したコースを選びます。コースの特徴として、「ワークコース」では、週9単位時間の作業学習があります。作業学習を中心に学習し、卒業後に向けて働く力を高めたい生徒が選択します。「ライフコース」では、週6単位時間の作業学習や週2単位時間の美術があります。学習内容をバランス良く学び、様々な学習を通して卒業後の生活を豊かにする力を身に付けたい生徒が選択します。「ライフベーシックコース」では、自立活動を主として学習し、対象の生徒は1学年から本コースで学びます。

【 平取町の地域資源を活用した教育活動 】

農業班は、週1回程度、地域のトマト農家やトマト選果場で作業学習を行います。農家や選果場の方から、直接指導を受け、実践的な学習を行います。総合家庭班や第1学年の作業学習では地域施設の清掃作業を行います。その他、地域の飲食店から注文を受けシール貼りや段ボール組立て等の作業も行っています。地域の中で働き、感謝されることを通して、働くことの意味や価値などを学びます。また、地域の保健師や歯科衛生士がゲストティーチャーとして来校したり、交流及び共同学習として平取高校の生徒と一緒に学習したりと、地域資源を活用した教育活動に取り組んでいます。



作業学習：農業班



作業学習：総合家庭班



作業学習：ものづくり班



作業学習：地域での作業
(公民館の清掃)



高等部祭：壁画アートの制作



体育大会

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級／重複障がい学級】

	月	火	水	木	金
1		日常生活の指導（朝のHR）			
	日常生活の指導	保健体育／自立活動			
2	保健体育／自立活動	数学	国語	国語	数学
3	作業学習	生活単元学習	生活単元学習	作業学習	作業学習
4					
5	国語	美術	HR活動	保健体育	日常生活の指導（帰りのHR）
6	音楽		日常生活の指導		
7	日常生活の指導（帰りのHR）			日常生活の指導	

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

*登校時間 9：05（月）／8：50（火～金）

*下校時間 15：05（月・火・木）／14：20（水）／13：35（金）

■教育課程の特徴

生徒一人一人の将来の生活を見据え、第1学年は共通した教育課程、第2、3学年はコースごとに教育課程を編成しています。

- 作業学習
生徒の実態に応じて意欲的に取り組むことができる活動を設定します。製品を仕上げたり、地域で活動したりする中で、達成感や自己有用感などを得て、働く力や意欲、態度を育てます。1学年は週6単位時間行います。
- 総合的な探究の時間
近隣校との交流及び共同学習、ALTとの交流などを通して、主体的に取り組む態度と意欲を育てます。また、現場実習を通して、社会の中での自分の役割に対する意識を高め仕事に協働的に取り組む姿勢を養います。
- 自立活動
各教科等の指導内容と関連付けながら全ての教育活動の中で行います。
特にライフベーシックコースでは一人一人の生徒の障がいに応じて健康の維持・改善、コミュニケーション力の向上などを目指します。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

- 一般就労(障がい者雇用)～1名
- 福祉的就労～11名【就労継続支援B型7名、生活介護4名】

学校Webページ



日高管内

北海道平取養護学校静内ペテカリの園分校

寄宿舍：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住所 〒056-0023 日高郡新ひだか町静内ときわ町1丁目1番35号
- 問合せ先 TEL 0146-43-2918
FAX 0146-43-2918
E-mail biratoriyougopetekarinosono-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.biratoriyougopetekarinosono.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「未来に向かい よろこびをもって生きる 子どもを育てる」
- 校訓（子ども像）
「よく考え学ぶ子ども」
「豊かな心をもつ子ども」
「命と体を大切に子ども」



□ 概要

本校は昭和60年に北海道平取養護学校の分校として開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。高等部は平成12年に開設されました。知的障がいや重複障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、地域との交流を通して、卒業後の自立と社会参加を目指し、「生活する力」や「人と関わる力」等を養う教育を行っています。

■特色ある教育活動

高等部教育目標

- 働くために必要な体力や生活習慣を見に身に付けるとともに、実生活に必要な各教科等の知識及び技能を身に付ける
【知識・技能】
- 社会的な約束やルールが分かり、場所や状況に応じた行動がとれる。
【思考力・判断力・表現力】
- お互いの考えや感情を尊重し、自分の役割や役目に応じて社会の中で主体的に行動する。
【学びに向かう力・人間力】

【 地域と共に進める「作業学習」 】

卒業後に目指す生活スタイルやニーズの多様化を受けて、2つの作業学習班を編制し、地域社会において自立的に働く喜びや様々な人との関わりに必要な力の育成を目指しています。

また、静内地域における主要企業の協力を得ながら、校外での作業学習を継続的に実施する地域作業を推進しており、地域社会で自立的に生活できる人材の育成に努めています。

• ワークグループ

職業生活の自立を重点目標として、木工、農園芸、清掃、縫工などの作業に取り組んでいます。

また、5月～10月までは週に1回、地域作業（ミニトマトの収穫・選別、ライディングヒルズでの清掃など）に取り組んでいます。

• ライフグループ

日常生活の自立を重点目標として、農園芸、清掃、リサイクルなどの作業に取り組んでいます。



作業学習：木工作業



作業学習：リサイクル



作業学習：縫工



体づくり



作業学習：地域作業



総合的な探究の時間：
農業高校との交流

■高等部週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	国語・数学	国語・数学	体づくり	国語・数学	国語・数学
3	体づくり		作業学習	体づくり	
4	作業学習	生活単元学習		保健体育	美術
5	作業学習	作業学習	音楽	生活単元学習	LHR
6			日常生活の指導	自立活動	日常生活の指導
7	日常生活の指導	日常生活の指導		日常生活の指導	

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

- * 登校時間 8：40（月～金）
- * 下校時間 15：10（月・火・木）
14：20（水・金）

■教育課程の特徴

作業学習や生活単元学習、体づくりを中心的な学習として、国語や数学などの教科の指導、総合的な探究の時間等を適切に配置し、関連付けて教育課程を編成しています。卒業後の社会生活（社会参加・社会貢献）において、実践的に役立つ力や生活習慣を育成する教育活動を展開しています。

- 地域で学び、地域で活かす作業学習
基本の作業学習の他に、新ひだか町静内地域の各関係機関の協力を得ながら地域作業を進め、勤労意欲を高めるとともに、仕事で必要とされる態度や習慣、場面に応じた対応などを中心に学習します。
- アカデミックスキルの充実
国語・数学などの卒業後の生活に必要な力の育成を目指しています。ニュースや話を聞いて要旨が分かる力を育てる学習や時計や金銭など生活に結び付いた学習を行っています。また、その成果を確かめるため、生活単元学習で、高等部カフェ、製品販売会、買い物や公共施設の利用についての学習を行っています。
- 総合的な探究の時間
新ひだか町の施設を利用した乗馬学習を行っています。また、第1学年から第3学年まで地域の事業所や企業で現場実習を行っています。
- 自立活動の指導
自立活動の時間は、時間における指導を行い、トップダウンとボトムアップの双方の視点から個々のニーズに応じた指導を行っています。また、教科等の授業において個々の自立活動の目標を踏まえて指導を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

- 一般就労 0名
- 福祉的就労 1名【就労継続支援B型等】
- 施設入所利用 1名
- 生活介護 2名
- 短期入所利用 0名
- 家庭 2名

学校Webページ

